

小澤征爾さん死去

最高の音楽ありがとう

多くの思い出出市民悲嘆

世界的指揮者・小澤征爾さんの訃報を受け、小澤さんを総監督に松本市で30年以上にわたって開催されてきた国際音楽祭セイジ・オザワ・松本フェスティバル(OMF、前身・SKF)に関わり続けた松本市民ら松本地域の関係者は、一様に言葉を失った。

(取材班) 【1面参照】

小澤さんの指揮で音うと感謝してもし切れ長を退任する際「僕も音楽のオペラや合唱にない」と涙を流した。死ぬまで(音楽祭を)出演し、SKO(サイ音楽祭の草創期からやるから君も続けるべトウ・キネン・オーケストラ)との交友も深い20年務め、小澤さんともらった思い出を振り返り、悲嘆した。

前副市長でOMF実行委員長も務めた坪田高さを生で経験させては「一地方都市に与えられた影響は計り知れない。残念の極み」感、生活の豊かさを思と肩を落とした。協会、揮や、舞台を降りると

スタッフ一人一人に声を掛けていた姿を回想。「世界一流の指揮者でありながらおごらず、日本人の持つ気遣いや人を包み込むような優しさ、温かさがあつた。魅力的な人だった。大好きだったと別れを悼んだ。

OMF実行委員長の臥雲義尚市長は「国際音楽祭の開催地として、日本全国の複数都市の中から松本を選んだ」とそれぞれコメントを発表した。

でいただいた。松本の地と松本の市民をこよなく愛し、京都・松本を発展させていただいた。ご逝去は松本市民にとつても計り知れない喪失で、痛惜の念に堪えない、阿部守一知事は「長野県に最高の水準の音楽芸術を響かせることともに(SKF、OMFを)世界的音楽祭に育てていただいた」とそれぞれコメントを発表した。

地元の味で出演者をもてなす音楽祭恒例の「お茶会」は「パーティー」で満面の笑みを見せる小澤さん(平成20年8月29日)



松本城を背景に開かれたSKF合同演奏会で、松本地域の子どもたちの吹奏楽を指揮する小澤さん(平成13年9月2日)



音楽祭の最終公演を終え、運営を支えた市民ボランティアをねぎらう小澤さん(平成22年9月9日)

すんきと酸菜

赤カブの葉茎を使った無塩の乳酸発酵食品「すんき」が木曾での暮らしに欠かせなくなってきた。木曾郡内各地で初冬に始まる仕込み作業取材した後は、スーパーマーケットですんきを手に取るのが習慣となった。

今冬は、郡内のお年寄りとお茶飲み会に交ぜてもらうことも多く、本場の味に思わずうなづいた。

先日、御嶽山麓西側の岐阜県高山市で在来種の飛騨紅かぶを乳酸発酵させる伝統食「酸菜」

取材した。木曾の郷土食「すんき」と似た食文化だ。ちょうど1年前、高山市内で開催された会合の取材の道中に立ち寄った道の駅のポップがきっかけだった。なんと記事にできないかと模索したところ、1年越しに疑問を消化できたのは幸運だった。

聞いた話すべてを記事に盛り込むことはできなかつたが、一昔前には山で採れるヤマズミ・スグリといった酸味のある木の葉で酸菜の色を出していたという話も聞いた。木曾ではどうだったのだろうか。疑問は尽きない。(玲)

令和6年2月23日(金祝)午後2時開演 午後1時15分開場

第十二回 かのら寄席

【会場】カノラホール(岡谷市文化会館) 大ホール

【木戸銭】指定席3,500円/小中高生1,000円

古典落語の王道をまい進する落語協会会長“市馬” 笑いにどん欲、破天荒な爆笑派“馬るこ” 話題沸騰!! 寄席のプリンセス“桃花” 早春のカノラホールで大笑いのひとときを

お問合せ カノラホール [岡谷市文化会館] ☎ 0266-24-1300 https://canora.or.jp/

本日 **ぎょうざ半額**

毎月第2・第4土曜日

本店:南松本店・追分店・並木店・塩尻店・山形店・松金店

焼きょうざ300円 **150円** 冷凍ぎょうざ260円 **130円**

塩尻店 ☎0263-25-4222
 南松本店 ☎0263-26-0506
 追分店 ☎0263-36-3734
 並木店 ☎0263-88-8240
 山形店 ☎0263-54-3331
 塩尻店 ☎0263-98-5131
 松金店 ☎0263-88-8142

★次の感謝デーは2/24(土)!!

安心・確か!洋服リフォーム

思い出のお洋服などはやりのデザインに。お直しなど、どんなことでもご相談

洋服110番リペアセンター

☎32-3155 松本市本庄1-8-7 (相次病院西・長野トヨタ前)

貴金属宝飾工芸 石止彫加工修理

オリジナルデザイン、リホーム

かざりや

宝飾師 田口 義雄

松本市中央3-2-17 TEL.0263-33-6218

共通版

塩尻 復元住居の建て替え作業体験…6面
木曽 青峰高と県養護学校の製品販売…7面
田川小の増澤さん 路上ライブ挑戦へ…22面
県内高校生・大学生 山形でスイーツ販売…22面

市民タイムス

発行所/市民タイムス:本社/〒390-8539松本市大字島立800番地
TEL(0263) 受付47-7777 編集47-7774 広告48-2000 販売47-4755
FAX(0263) 受付48-2422 編集47-1654 広告47-8585 販売48-2422

組合員・地域の皆様へ
少人数からゆったりとホール
版かに菩提寺で
思い出のつまったご自宅
ご要望に沿ったご葬儀を提案致します。
JA松本ハイランド JAあづみ JA木曾
JA虹のホールグループ 虹のホール



来年1月に閉店するイトーヨーカドー南松本店

松本市高宮中の国道19号沿いにある総合スーパー・イトーヨーカドー南松本店が来年1月に閉店する方針であることが10日、関係者への取材で分かった。
全国的イトーヨーカドーを首都圏に集約する経営改革の一環とみられる。来年2月末に閉

イトーカドー 来年1月閉店
南松本店 経営改革で方針

松本市高宮中の国道19号沿いにある総合スーパー・イトーヨーカドー南松本店が来年1月に閉店する方針であることが10日、関係者への取材で分かった。全国的イトーヨーカドーを首都圏に集約する経営改革の一環とみられる。来年2月末に閉

令和六年 2月11日 建国記念の日
深志神社 0263-32-1214

松本市で開かれる国際音楽祭セイジ・オザワ松本フェスティバル(OMF)の総監督で世界的指揮者の小澤征爾さんの死去を受け、OMF実行委員会などは10日、市内3カ所の音楽祭会場に献花記帳所を設けた。市民らが訪れ、世界で活躍しながらも親しまれる存在だった巨匠との別れを惜しんだ。



OMF主会場のキッセイ文化ホール(水汲)の献花記帳所には、こやかな表情の遺影や写真パネルが飾られ、音楽祭の演奏曲が流された。訪れた人たちは「一言で音が変わり、一人一人に声を掛けてもらったことが忘れられない」と振り返った。母の由佳さん(56)は「小澤さん(23)は、幼い頃に近所のスーパーで偶然小澤さんと言葉を交わし、中学校の吹奏楽部で直接指導を受けた。」

小澤さん追悼 市民次々と 献花台 縁のホールに

安曇野市社会福祉協議会が運営する明科児童館は10日、児童館で郷土食・やしようま作りをした。市内の乳幼児や小学生と保護者の7組19人が、蒸した米粉の生地を付けて、明科児童館の明科児童館で、断面の鮮やかな模様と素朴な味を楽しんだ。若い世代に伝統食を継承する場になればと企画し、明科農村生活マイスターの女性3人が手ほどきした。蒸した米粉に色粉を入れて練ると、白色の生地が赤色、黄色、緑色、紫色に染まり、子供たちは「きれいな色だね」と、うれしそうに声を上げた。



やしようま作りを楽しむ参加者

給湯器 交換するなら今! (株)イトウ住建
塩尻店 安曇野店
LINEで見積り 0120-27-1468
HP http://www.ito-juken.com
各種給湯器の価格表と補助金情報

世界のオザワ



毎年松本に迎える国内外の観客を魅了し続けた小澤さんの指揮。この年はラベルやブラームスを振った(平成21年9月4日、県松本文化会館)



オーケストラプログラムの最終公演でおなじみの県花リンドウを手に、晴れやかな表情で総立ちの聴衆に応える小澤さん(平成28年8月28日、キッセイ文化ホール)



小澤さんが指揮したオペラ「こどもと魔法」のカーテンコール。この年の公演を収録したアルバムがグラミー賞を受賞した(平成25年8月23日、まつもと市民芸術館)

オペラやオケ 指揮熱く



食道がんの公表から7カ月の療養を経て、音楽の舞台に舞い戻った小澤さん。復帰会見を開いた奥志賀高原で、若手音楽家を前に振った渾身(こんしん)のタクトが会場を震わせた(平成22年8月1日)

SKF開幕を歓迎して県松本文化会館で開かれた「吹奏楽合同演奏会」で、小中学校の吹奏楽部や一般のマーチングバンドを指揮する小澤さん。どんな時も手を抜かず、全力で体当たりする姿が子供たちを引き付けた(平成20年8月24日)



子供やボランティア 大切に



小学校6年生を招待する「子どものための音楽会」は次世代育成に力を入れていた小澤さんが大切にしてきたプログラム。最後に「ふるさと」を大合唱した(平成26年8月21日、キッセイ文化ホール)



音楽祭を支えるボランティアらへの感謝を忘れず、公演最終日には直接ねぎらった(平成27年9月6日、キッセイ文化ホール)



OMFの公式演目では最後の指揮となった室内楽公演「サプライズ」で登場。圧倒的な存在感で繊細な音色を引き出した(令和元年8月18日、松本市音楽文化ホール)



40年以上の親交がある映画音楽の巨匠ジョン・ウィリアムズさんが出演したオーケストラ公演では、ウィリアムズさんの呼び掛けに応じて小澤さんが登場。OMFの舞台上で旧交を温めた(令和5年9月2日、キッセイ文化ホール©大窪道治/2023OMF)

音楽祭出演者やスタッフらによる恒例の野球大会で、声援を送る小澤さん(平成15年9月2日、松本市野球場)



松本を愛した

初のSKF

パレードに続き、地元の吹奏楽団体が天守に音色を響かせた初の合同演奏会。小澤さんがはつらつと指揮をした(平成4年8月30日、松本城本丸庭園)



9日に訃報が伝わった世界的指揮者の小澤征爾さんは、国際音楽祭セイジ・オザワ松本フェスティバル(OMF)の開催地・松本に「自分の場所みたいなもの」と思いを寄せ、大きな足跡を残した。サイトウ・キネン・オーケストラ(SKO)と世界水準の演奏を追求した音楽祭の情熱あふれる姿や、気さくな人柄で市民との触れ合いを楽しむ表情を写真で振り返る。

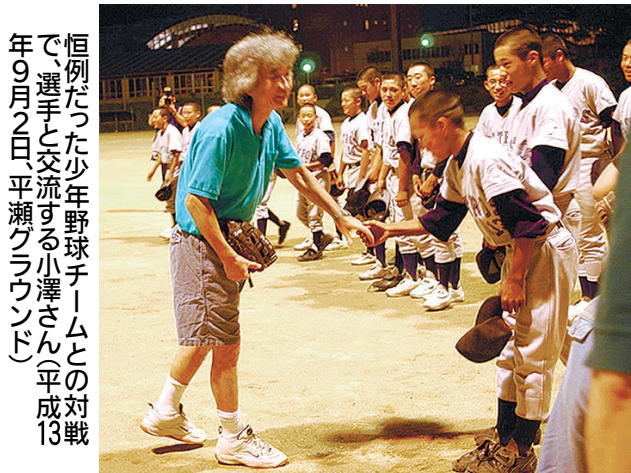
「征爾」リンゴ収穫

音楽祭の初期には、出演者らに小旅行などが用意されていた。この年は農園に立ち寄り一人一人、名前入りリンゴの収穫を楽しんだ(平成6年9月5日、旧梓川村)



圧巻の千人合唱指揮

子供から大人まで参加した「千人合唱」のプログラムは、市民が小澤さんと共演できる夢の舞台だった(平成15年9月6日、松本市総合体育館)



恒例だった少年野球チームとの対戦で、選手と交流する小澤さん(平成13年9月2日、平瀬グラウンド)



力強くバットを振る小澤さん(平成16年8月30日、松本市野球場)

大好き! そばや野球で笑顔



そば好きの小澤さんをもてなすために毎年開かれたそばパーティー。ボランティアの実演を見学していた小澤さんも飛び入りでそば打ちを体験した(平成10年8月28日、県松本文化会館)



そばパーティーの締めくくりに、ボランティアらが小澤さんを囲んで記念撮影(平成15年9月7日、県松本文化会館)



ライブなどでにぎわった信濃むつみ高校の文化祭

信濃むつみ高校(松本市南松本1)の文化祭が10日、2日間の日程で始まった。音楽のライブや出店、体験コーナーなど多彩な催しがあり、多くの来場者でにぎわっている。「テラ・スコラパティ」と銘打ち、毎年2月と8月に開いているイベントで、2月は「表現の場」がテーマとなっている。1階ホールでは2日間、わたつてさまさまバンドや楽器の演奏が繰り広

げられている。校内は華やかに飾り付けられ、来場者はチケットを購入して食べ物を買ったり、クイズラリーを楽しんだりしていた。実行委員長の3年生・山本芽生さん(18)は「生徒が主体的に行動して工夫したところを見てほしい」と話していた。開場時間は午前11時から午後3時まで。(柳 純一)



つややかな歌声を響かせるメンバーたち

ず」の定期公演が10日、島内の市音楽文化ホールで開かれた。30代、80代のメンバー21人がつややかな歌声を響かせるなど、なじみの曲をはじめ、フォーレの「ミサ曲」や雅歌を披露した。難易度が高いとされる、三善晃作曲・立原道造・中原中也作詩の3曲からなる「三つの抒情」にも挑戦し、情感たっぷりに歌いあげると、会場から大きな

さらばマエストロ 記者人生は小澤征爾さんとともに始まった。小澤さんが総監督を務めるサイトウ・キネン・フェスティバル松本(SKF、現OMF)を入社の年から取材し、毎年夏の全期間を音楽祭に費やした。数ある中でも思い出深いのは平成22年、食道がんからの復帰会見。夢みらい。今日から第2の人生が始まる。涙を浮かべ、公の前で7カ月ぶりにタクトを取った。あの日のほとぼるようなチャイコフスキーを今も忘れない。幾

工夫凝らして文化祭

松本むつみ高校きょうまで

小澤征爾さん死去

松本市を舞台に国際音楽祭セイジ・オザワ松本フェスティバル(OMF、前身SKF)を築き上げた世界的指揮者・小澤征爾さんの訃報は、松本地域に瞬く間に広がった。公表から一夜明けた10日、市内の街頭にはさまざまな思いを胸に、小澤さんへの感謝や別れを語る人々の姿があった。(有賀文香) 【1面参照、追悼グラフ20・21面】



急ぎよ設置された小澤征爾さんの追悼CDコーナー(ライオン堂)

通年でOMFコーナーを設けている松本市・ライオン堂は、急ぎ

悲しみと感謝 街に広がる



松本駅前城口の時計塔では、揮毫を眺めたり写真に撮ったりする人の姿が見られた。松本市蟻ヶ崎の会社員・増田高也さん(56)は「松本を本拠地に選んでもらった感謝と敬意を込めて」時計塔を撮影。「この土地に素晴らしい小澤さんの揮毫で「案部」の字が彫られる松本駅前時計塔には何人も市民が足を止めていた。

音楽の宝物残してくれた

対する市民の意識は格段に高いと感じる。礎を築いた小澤さんの訃報は本心に「残念」と話した。同店には午前から、小澤さんやサイトウ・キネン・オーケストラのCDを買い求める人々が来店。CDを複数購入した村田和夫さん(69)、智富美さん

悲しみから救ってくれたのも小さなもふもふでした。幸せの順番を待っている子があちらにもこちらにも溢れています。ちいざな家族にありがとう 虹の架け橋 ふう TEL.070-1490-3588(本木)

第2回 ANCアリーナ 2nd SPORTS FESTIVAL 2024年2月24日(土) 9:00~17:00 参加無料。3人制プロバスケットボールチーム 信州松本ダイナブラックス。公開練習 13:00~ サブアリーナ。U-15クリニック 15:00~ [参加者ご予約受付中]。講師 芝崎 百香さん。キッチンカーも出店!!

白髪染めだけ!でも気軽にOK! 部分染め プロ付 1,500円。根元染め プロ付 2,900円。全体染め プロ付 3,900円。美容室 沙羅 完全予約制 0263-27-8832